

第1号議案(1)

令和5年度事業報告書

令和5年度は、コロナが5類に引き下げられたことで単に元の日常に戻るということではなく、アフターコロナの新たな価値観による社会生活規範を見据え、各行事やセミナーの開催については、オンライン、リアルを適宜選択し、会員の皆様が参加しやすい形態を念頭においた運営を行った。

国内に目を向ければ地震災害、諸物価の高騰、賃金格差の問題、いわゆる「政治とカネをめぐる問題」によってもたらされた政治不信など様々な事象に見舞われた年でもあった。こうした厳しい現状の中で、それらの影響は我々中小企業の経営にも大きな影響を与えている。

こうした閉塞感の中で、出来る限りの経営努力をもって臨んでいくのは勿論、法人会が提供できる会員サービス、メリットの提供とはいかなるものであるかを模索しつつ、さらには費用対効果という視点から行事の見直し等も含め、時代の変化に対応した会運営を心掛け、会員企業の事業の発展および地域の振興に寄与すべく積極的な活動を展開した。

I. 総務組織関係

<組織の強化・充実>

1. 令和5年度の会員増強運動は、10, 11, 12月を会員増強月間に定め増強運動を展開した。獲得目標数は、コロナの規制緩和に伴い100社に設定し増強運動を実施、本部・支部並びに厚生制度受託会社等の皆様のご協力により目標を達成することができました。年間通期では退会122社を僅か1社ではありますが上回る123社を獲得しました。しかしコロナ禍の影響は依然大きく退会理由の約半数は廃業、休業が占めており油断はできない状況は今後も続くことから、会員相互支援など、会として可能な支援策を講じることが必要であり、会員交流や支部活性化等の退会防止策との併用で会員減少を防止していくことが急務である。

※主な退会理由 休・廃業52社、営業不振4社

【会員動向】

	会員数	稼働法人数	加入率
令和 4年3月末	2,799	8,787	31.9%
令和 5年3月末	2,716	8,771	30.9%
令和 6年3月末	2,717	8,771	30.9%

<総務関係>

1. 公益法人としての理念・社会的使命を会活動に円滑に反映させるため、本部の諸会議、支部会合及び部会役員会を積極的に開催した。また税務関係諸団体並びに東京法人会連合会、東法連第3ブロックの各法人会等と緊密な連携を保ち運営の衝にあたった。

2. 税務連絡員活動

346名の支部役員が税務連絡員に就任。会員の税に対する要望、苦情等の声を税務当局に伝え、税務行政に反映してもらうため会員と署のパイプ役として活動した。税務連絡員会同では28名が参加し、税務連絡員としての意識を高めた。

3. 支部活動

支部活動は、よき経営者を目指す同じ地域に住む会員が、お互いに知り合い、話し合い、高め合うことを目的に各種事業を開催した。法人会の研修会等を通じて、経営や税知識の修得に努め企業の発展に役立てると共に、税務署の方々との意見交換も図った。

令和5年度は、税務署の協力も得ながら別掲のとおり役員会、ブロック税務研修会、支部総会等を開催した。

4. 部会活動

当会の下部組織である青年部会・女性部会は、別掲のとおり報告会、役員会、税務研修会・イブニングセミナー、バス研修会・文化鑑賞会等を開催すると共に事業内容の充実に務めた。

5. 税務五団体関係

税務行政への協力団体並びに当会の友誼団体として組織されている蒲田税務五団体と協調し、納税思想の高揚に努めた。また、納税表彰式、税を考える週間の行事、確定申告期間の協力等を別掲のとおり行った。

6. 東法連及び第3ブロック法人会関係

上部団体である東法連及び近隣の10法人会で組織している東法連第3ブロック法人会の諸会合に参加し、法人会活動についての意見交換を行った。

II. 税制税務関係

1. 法人会の設立趣旨である適正かつ公平な税制の実現を期するため、税制税務委員会が中心となって、全国法人会総連合へ提出する要望事項を検討した。
2. 令和5年10月18日(水)、群馬主管の第39回法人会全国大会が高崎芸術劇場にて開催された。当会からは、副会長はじめ4名が参加。全国法人会総連合で取り纏められた令和6年度の税制改正要望が会場で採択された。これらの内容を要望書として地元国会議員、大田区長に対し、手渡し陳情を行うなど積極的な活動を展開した。
3. 政府が令和5年12月22日に令和6年度税制改正大綱を閣議決定した。法人会が提言していた交際費課税の特例の延長や、損金不算入となる交際費から除外される飲食費等の額(5千円→1万円)が引き上げられました。また、賃上げ税制を強化し、あわせて1人4万円の定額減税を実施することで、法人と個人の税制両面から、物価上昇に対する国民負担の緩和を目指す改正となりました。

〈 令和6年度 税制改正スローガン 〉

- ・財政健全化は国家的課題。負担を先送りせず現世代で解決を！
- ・企業への過度な保険料負担を抑制し、経済成長を阻害しない社会保障制度の確立を！
- ・経済再生には中小企業の力が不可欠。健全な経営に取り組む企業に実効性のある支援を！
- ・中小企業は地域経済と雇用の担い手。本格的な事業承継税制の創設を！

III. 広報関係

会の対外的な情報発信と認知度の向上を担っている広報委員会においては、昨今の情報発信ツール、メディアの多様化に併せるべく、会報誌「法人かまた」の発行のみに留まらず、YouTube 動画等映像媒体を活用しての広報活動も視野にいたった編集を行っている。

※会報誌「法人かまた」は、税務ニュース・経営・地域情報並びに法人会活動を掲載し、隔月奇数

月に6巻を発刊した。(第508号～513号)

会報誌「法人かまた」の掲載内容についての改善点

- ・誌面をより読みやすくするため、横書き、左とじにリニューアルした。
- ・税のオピニオンリーダーとしての法人会の活動を広く知らしめるという根本理念をもとに、税の情報発信という側面を強化し、さらに、これから開催するイベント等の情報にも留意した誌面づくりを心掛けた。また、様々なメディアを使って情報発信がなされている昨今の情勢を鑑みて、会員企業の情報発信や交流のスペースも加えてゆくこととした。
- ・広報誌の顔である表紙については、「蒲田らしさ」のある風景を取り上げてきたが、今後は、各支部と連携して各地域の特色が伝わるスポットなどを取り上げていく予定である。

IV. 公益事業関係

1. 日常生活がほぼ元に戻ったため、例年通り各種の研修会、説明会、講演会等が本部並びに支部において、また、税務署の講師による税務研修会等も全ブロックにて別掲のとおり実施された。
2. 『税を考える週間』の協賛行事
 - (1)11月12日(日)に蒲田税務五団体による税の街頭広報活動が行われ、税のチラシ、ボールペン等が配布された。
 - (2)青年部会・女性部会が中心となり、11月7日(火)に大田区民ホール・アプリコ大ホールにて第31回チャリティー寄席が開催され、会員並びに地域住民340名が来場した。出演は林家正蔵、マギー司郎、コント D51、三笑亭夢太朗。寄席終了後には4年ぶりにお楽しみ抽選会も行われた。なお、このチャリティー寄席の寄付金は、日本赤十字社へ寄付した。
 - (3)11月17日(金)の税務連絡員会同後に「特別講演会」を開催した。講師はシャンソン歌手、料理愛好家としてもお茶の間で親しまれている平野レミさん。『胸にはエプロン 口にシャンソン』
3. 所得税確定申告期間には、京浜蒲田商店街、雑色商店街、矢口渡商店街、武蔵新田商店街に確定申告の横断幕を設置し広報活動を行った。
4. 租税教育
 - (1)蒲田税務署管内の小学校へ青年部会の役員が出向き、6年生を対象に租税教室を開催し講師を務めた。中萩中、糀谷、矢口の3校にて実施した。
 - (2)青年部会・女性部会合同にて夏休みに開催されている租税教育イベント「サマー税ミナール」が7月29日(土)に羽田のPIO・PARKにて開催された。「とうふ作り体験教室」ということで豆腐マイスターの工藤詩織さんを迎え、2部に分けて豆腐作りにチャレンジ。保護者の方共々好評を頂いた。
 - (3)10月26日(土)には、第3ブロックの三法人会青年部会合同で毎年開催している租税教育イベント「O-TAX」が開催された。今回は雪谷が主催となりカードゲーム形式で「パン屋さんの経営にチャレンジ！」し、税金の仕組みを学んだ。当日は、蒲田税務署から高橋署長他幹部3名、法人会からは伴会長が来賓として出席された。
 - (4)全法連女性部会連絡協議会統一事業の「税に関する絵はがきコンクール」では、蒲田税務署管内の小学校6年生を対象に税に関する絵はがきを募集し149点の応募があり、優秀作品12点を表彰した。表彰式に関しては、賞の知名度向上に資すべく、多摩川小学校にて朝礼での表

彰式が実施され、蒲田税務署高橋署長、大田都税事務所門倉副所長がプレゼンターを務めた。

5. 支部における社会貢献活動

- ・8月20日(日)に開催された大田区立うめの木園での「いきいき祭り」にて、東糺谷支部が模擬店での販売を担当した。(東糺谷支部は毎年参加)
- ・2月23日(金)池上梅園にて、茶室にて和菓子とお茶を楽しむ略式のお茶会が開催され、西蒲田支部が担当した。

V. 厚生共益事業関係

会員の福利厚生事業として、会員間の親睦を目的とした事業を開催した。また、経営者大型保障制度をはじめとする各種共済制度の加入促進、儀式サービス制度の普及推進、成人病予防健康診断の受診普及、福利厚生制度優待利用等の一層の普及に努めた。

1. 企業経営者や従業員の福利厚生と企業経営の安全を図るため「経営者大型総合保障制度」、「東法連特定退職金共済制度」の普及並びに加入推進を行った。(引受保険会社:大同生命保険)
2. 経営を取り巻く様々なリスクから企業を守る「東法連ビジネスガード」等経営保全プランの普及推進に努めた。(引受保険会社:AIG損害保険)
3. 経営者及び従業員の福利厚生制度として「がん保険」「介護保険」「医療保険EVER」「終身保険WAYS」「給与サポート」等の普及推進に努めた。(引受保険会社:アフラック生命保険)
4. 会員の福利厚生の充実を図るため「葬儀支援サービス」制度の普及推進に努めた。(提携:全国儀式サービス)
5. その他各種共済制度の普及推進に努めた。これら厚生事業に伴う収益は、当会の財政基盤の安定に貢献している。
6. 会員企業役職員の健康推進のため、成人病予防健康診断の受診普及に努めた。
 - ①レントゲン車による健診 (一財)全日本労働福祉協会
 - ②1日人間ドック 楠樹記念クリニック(新宿)
7. 会員親睦ボウリング大会を3月1日(金)に品川プリンスホテルボウリングセンターにて開催。22 チーム計 88 名が参加し、4年ぶりとなる表彰式(懇親会)も開催した。
8. 公益事業委員会と共催で第24回親睦チャリティーゴルフ大会を、10月3日(火)に戸塚カントリー倶楽部にて開催。表彰式(懇親会)も開催。当日のチャリティー募金は大田区社会福祉協議会へ寄贈した。
9. 高い関心を寄せられている健康についてのセミナーを、ただ聴くだけでなく測定やエクササイズ等も取り入れた内容で4回開催した。
10. 会員増強・福利厚生制度推進会議を総務組織委員会と共催で開催し、会員増強運動スタートの意識高揚と共済会社との連携意識の確認を促した。

11. 会員企業へ「東京ディズニーリゾート特別利用券」を配布した。

VI. 青年部会関係

1. 部会の通常総会にあたる女性部会との合同報告会を5月26日(金)プラザ・アペアにて開催した。第1部では活動報告を、第二部ではどなたでも参加いただけるように、講演会は女性講師の宝井琴鶴さん、女性漫才コンビのマリアさんをお招きして寄席形式にて開催した。
2. 部会の大きな柱である租税教育の一つ、小学校での租税教室は、上半期2校下半期1校計3校の実施となった。生徒数は計225名。
3. 夏休みの租税教育イベントとして女性部会と合同で毎年実施しているサマー税ミナールを、7月29日(土)羽田 HiCity の PIO・PARK にて開催した。「とうふ作り体験教室」ということで豆腐マイスターの工藤詩織さんを迎え、2部に分けて豆腐作りにチャレンジ。保護者の方共々好評を頂いた。
4. 視察研修会を6月16日(金)～18日(日)に開催。タイの現地法人マルイ工業(株)を訪問し、広く会員企業及び地元企業の事業にフィードバックすべく、車のエンブレム等装飾部品工場の生産ライン、経営、管理システムを視察した。見学後は日本・タイのディスカッションにより情報交換を行った。参加者数11名。内容については会報誌に掲載した。参加申し込みについては、どなたでも参加いただけるよう HP 上にも案内を掲載した。
5. 年4回役員が多彩なテーマを持ち寄って行う研修会「イブニングセミナー」は、予定通り4回開催した。「誰でも飛ばせるゴルフクラブとカラダの正しい使い方」、「東急のまちづくり～新空港線と蒲田の未来～」、「東急プラザ蒲田 みなさまと共に」、「ゼロからはじめるTikTok マーケティング」と今回も多彩な内容で各回とも好評を博した。案内は全会員のほか、どなたでも参加できるよう HP 上にも掲載した。(全回リアルにて開催)
6. 女性部会と合同開催の税務研修会を2月15日(木)法人ビル4F研修室にて開催。テーマは「今ぜひ知っておきたい贈与税&事業承継」と誰もが避けて通れない内容。講師は森井税務所森井税理士、東京都中小企業振興社。
7. 11月10日(金)の全国青年の集い・山形大会は、役員3名が大会式典、講演会等に参加した。
8. 役員会は予定通り年11回開催した。
9. 大田区内の3法人会青年部会で合同開催している租税教育イベント「O-TAX」は、雪谷法人会が幹事会となり、羽田イノベーションシティーにてカードゲーム形式でパン屋さんの経営者になって税金について学ぶ「パン屋さんの経営者になろう！」を開催。蒲田からも役員7名が運営に参加した。
10. 動画配信では、部会の対外的な活動を目で見えて理解、認知してもらうべく、サマー税ミナール、O-TAX、チャリティー寄席、親睦チャリティーゴルフ大会などの部会活動のコンテンツをHPにて掲載した。
11. 上記の部会活動の他、本会のチャリティー寄席、会員親睦チャリティーゴルフ大会では、運営の中心となって活動、新年賀詞交歓会では女性部会とともにビンゴ大会を開催した。

VII. 女性部会関係

1. 部会の通常総会にあたる青年部会との合同報告会を5月26日(金)プラザ・アペアにて開催した。講演会には女性講師の宝井琴鶴さん、女性漫才師のマリアさんをお招きして寄席形式にて開催した。
2. 夏休みの租税教育イベントとして青年部会と合同で毎年実施しているサマー税ミナールにて、当日の受付等開催運営を補助した。
3. 「文化鑑賞会」では、7月21日(金)KAAT 神奈川芸術劇場にて劇団四季ミュージカル「クレイジー・フォー・ユー」を鑑賞した。参加者数26名。
4. 女性部会単独開催の税務研修会では、6月26日(月)法人ビル研修室にて蒲田税務署伊藤国税調査官による「インボイス制度分かりやすく解説！相続税についても併せて解説！」を開催した。参加者数12名。
5. バス見学会では、10月13日(金)・14日(土)に新潟県燕市産業資料館にて「純チタン製オリジナルスプーンづくり」を開催した。内容については会報誌に掲載した。参加者数17名。参加申し込みについては、どなたでも参加いただけるようHP上にも案内を掲載した。
6. 青年部会と合同開催の税務研修会を2月15日(木)法人ビル4F研修室にて開催。内容・講師の手配を担当した。テーマは「今ぜひ知っておきたい贈与税&事業承継」と誰もが避けて通れない内容。講師は森井税務所森井税理士、東京都中小企業振興社。
7. 役員会は計6回開催した。
8. 全法連女性部会連絡協議会統一事業の「税に関する絵はがきコンクール」では、149点の応募があり、優秀作品12名には賞状と賞品、参加者全員に参加賞を発送した。
9. 上記の部会活動の他、本会のチャリティー寄席では、運営の中心となって活動、新年賀詞交歓では青年部会とともにビンゴ大会を開催した。